



KANAGAWA

Peace Mail

神奈川県平和委員会

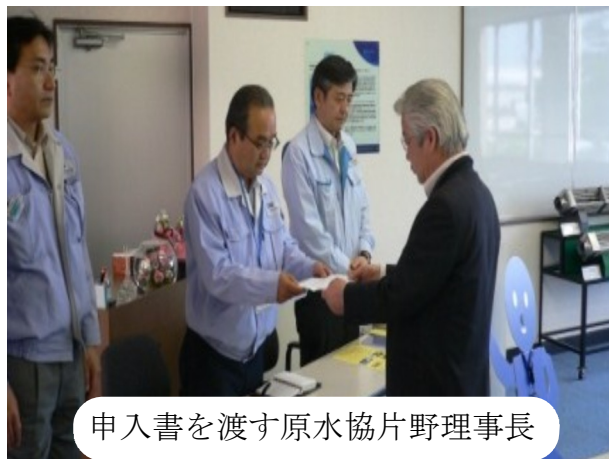
資料提供ニュース 第130号 11/5/3発行

横浜市中区野毛町2-61
大澤屋ビル4F
TEL/FAX ; 045-231-0103
Mail:mikio-yu@amber.plala.or.jp

横須賀核燃料工場で放射能汚染液漏れ事故！緊急抗議 放射能汚染廃棄物がドラム缶18000本に貯蔵

5月2日、平和委員会、原水協、新婦人、神奈川土建、阻止連、「いらぬ！原子力空母」など県内平和団体の代表と周辺住民約20名は、横須賀市の原子力燃料製造会社「グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン」の放射性廃棄物貯蔵場内での、放射能漏れ事故（4月25日）に対して、緊急の抗議と申し入れを行いました。

申し入れは①事故の全容、②現在までの経過、③住民への説明、④施設の安全性、⑤再発防止と今後の安全対策などの説明を求めました。



申入書を渡す原水協片野理事長

対応した広報部長は「事故の全容については現在調査中であり、報告がまとまりしだい公表する」ことを約束。

工場では年間2000体の核燃料集合体が生産され（現在まで7万体制以上が生産、供給されている）福島第1原発をはじめ、全国の沸騰水型原発の核燃料を生産・供給している。放射性廃棄物（ウランに汚染されたもの）の貯蔵庫には、現在2000体入りのドラム缶18000本が貯蔵されていること。古いものはすでに30年以上前からあり、現在年間1000本〜2000本が会社敷地内に貯蔵され続けていること。などが明らかにされました。



グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパンの会社入り口

「ドラム缶の中にはすでに耐用年数が過ぎ、再発のおそれがあるのではないかと指摘され、「現在すべてを調査中」と回答。

周辺の住民の方たちは、「事故があっても、住民への通報や説明は何ひとつなく、大変不安である」「避難態勢や訓練はどうなっているのか」と追求。行政への連絡とマスメディアでの通報体制がなく住民に直接の通報体制が不備である実態も明らかになりました。



会社に対し意見を述べる参加者